

前 奏 黙想	祈 禱
招 詞 イザヤ書 42:1~2	讚 美 歌 138 ああ主はたがため
讚 美 歌 58 かみよ、みまえに	献 金
祈 禱	讚 詠 547 いまささぐるそなえものを
信仰告白 使徒信条 566	黙 禱
聖 書 出エジプト記 3:4~6	主の祈り 564
ルカによる福音書 23:32~43	讚 詠 546 聖なるかな、せいなるかな
讚 美 歌 515 十字架の血に	祝 禱
説 教 『十字架、そこは聖なる場所』	後 奏

「[されこうべ]と呼ばれている所に来ると、そこで人々はイエスを十字架つけた。犯罪人も、一人は右に一人は左に、十字架につけた(ルカ23:33)」。十字架はローマの見せしめ極刑なので、両脇の犯罪人は帝国支配に抗するいわば政治犯かもしれない。その一人は「お前はメシアではないか。自分自身と我々を救ってみろ(23:39)」と言い、もう一人は「イエスよ、あなたの御国においてになるときは、わたしを思い出して下さい(23:42)」と言った。人間は、嘔き出る思いの持っていくような時、メシア(キリスト=救い主)にも悪態をつくだろう。一方でまた自らの苦難を納得できることもある。

二人の犯罪人の姿は、まさしく私たち自身の二つの側面ではないのか。イエスは十字架上の敬虔な隣人に告げた。「はっきり言うておくが、あなたは今日わたしと一緒に楽園にいる(23:43)」。彼は「あなたの御国においてになるとき(23:42)」と未来に期待をかけた。だがイエスの答えは、地獄状況の「今」が楽園なのだ(23:43)。どんなに敬虔であっても、今の苦しみが「楽園」だとは受容できまい。そうなると敬虔な隣人にも、「メシアなら～我々を救ってみろ(23:39)」という怒りが噴出するか。

しかしそもそも、十字架にかけられている者同士で、こんな悠長なやりとりが成り立つのか。十字架には手足を縛り付ける方法と、両手両足を釘で留めるやり方があるようだが、イエスらは太い釘で打ちつけられた(ヨハネ20:27)。ということは、三人はもう呻き声、叫び声、虫の息。だから福音書は、十字架上での対話を筆記したというより、十字架の奥義を、三者の対話によって語っている。

十字架の場面には誰がいるのか。イエスの服(貴重品)を奪いたい執行人(ルカ23:34)、呆然と見つめる民衆(23:35)、あざ笑って侮蔑する議員たち(23:35)、罵り侮辱するローマの兵士(23:36)。ここには信仰の権威、ローマの権力、むさぼり合う庶民、ごく普通の生活者、そして民族解放運動家の二人がいる。十字架の周囲では、民族も、社会層も、法律も、信仰も、ごちゃ混ぜでうねっている。勝手なイメージなのだが、あたかも海峡の渦潮か台風の目のようだ。十字架の重力は、誰にも知られないまま、ごちゃ混ぜの人間を渦巻状に引き寄せている。これが私の思い描いた、福音書が語る十字架像。

「そのとき、イエスは言われた。[父よ、彼らをお赦してください。自分が何をしているのか知らないのです](23:34)。「彼ら」とは執行人だけではない。背後にいる権力者のピラトやローマ帝国、敬虔で狂信的な律法学者、神殿での特権を持つ祭司長たち。それだけだろうか。下級役人や庶民、二人の解放運動家を含めた「彼ら」だ。またこの場にはいない「イエスを見捨てて逃げてしまった(マルコ14:50)」弟子たち、イエスに望みをかけた若者(14:51~52)、イエスを呪いさえたペトロ(14:71)、売り渡したユダ(14:45~46)をも含んで、「お赦してください(ルカ23:34)」と祈られた「彼ら」ではなかったか。

「神はキリストによって世を御自分と和解させ、人々の罪の責任を問うことなく、和解の言葉をわたしたちにゆだねられた(IIコリント5:19)」。そのために、ここに八ヶ岳教会が建てられた。主はモーセに言った。「足から履物を脱ぎなさい。あなたの立っている場所は聖なる土地だから(出エジプト3:5)」。十字架がここを聖なる場にする。教会の渦の中心は十字架。その聖性は、具体的で(3:6)、命尽きない(3:2)。

聖なる場で履物を脱ぐ(出エジプト3:3) 礼節を守り敬虔であれということだろう それ以上のことも裸足で土に立つと命の胎動を感じず 聖霊の風は肌感じていたが 足の裏をおろそかにしていた
次主日 4/20 は復活祭礼拝、聖餐式もします。4/27 の礼拝後は定期教会総会を開きます。会員の方は予定しててください。4/16(水)1:00~3:00 教会カフェ(1:30~2:00 聖書のおはなし)。

礼拝堂・集会所の住所：408-0012 山梨県北杜市高根町箕輪 2265-3

連絡・問い合わせは牧師へ：408-0205 北杜市明野町浅尾新田 1324 TEL 0551-25-4008

eメールは komechan.olive@gmail.com HP は「日本基督教団八ヶ岳教会」で検索して下さい。